

とって、直接的な支援はしていません。農業でも、燃油を2割以上減らした場合、費用増加分の7割を補てんする方針とされていますが、これもグループが対象で、全戸を対象としていません。

今議会に提出される「農業用生産資材高騰等に関する意見書」では、国の責任で救済することを求めています。

小泉改革により大変な格差社会になりましたが、自治体の首長は、地域住民を守るために町民と協力し、道や国にものを言うことが大事な責務だと思えます。町長の政治姿勢について伺います。

【再答弁② 町長】

町としては、所得保障的な直接支援は財政的に難しい状況ですが、放流事業支援をしてきたウニの漁獲高は毎年増えており、燃油消費の少ない前浜資源を拡大することは有効な手段です。サケ・ナマコ・アワビ・ホタテの養殖など、前浜漁業への誘導策で危機を乗り切りたいと考えています。農業については、飼料の自給

率の向上が緊急の課題であり、種子助成や草地改良に対して応援しています。いま町がとっている対策は、一次産業を取り巻く厳しい環境の打開に有効であり、さらに必要であれば、こうした部分の支援の充実を考えます。いずれにしても、国レベルの大きな問題ですから、国の責任で打開策を打ち出すように、強く要望していく姿勢でいます。

総務財政常任委員会

一、調査年月日

平成20年8月8日

二、調査項目・調査結果

①職員喫煙対策について

本庁と瀬棚総合支所は地下に、大成総合支所は一室に分



委員会

レポート

煙機器を設置し、それ以外は全面禁煙とするほか、公用車についても全車両禁煙とすることの説明を受けた。

②入湯税の税率改正について

北檜山区100円、瀬棚区40円、大成区60円となっている日帰り入湯税を100円に見直し均一課税とすることの説明を受けた。

③平成19年度財政健全化比率の速報値等について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき公表される指標について、概略(速報値)について説明を受けた。

一、調査年月日

平成20年8月27日

二、調査項目・調査結果

①財政事情について

平成20年度交付税算定替結果、平成21年度以降5年間の収支見通し、基金運用状

況見込などについて調査した。
②せきたな町職員等の公益通報について
公益通報者保護法に基づき施行される要綱について説明を受けた。



厚生文教常任委員会

一、調査年月日

平成20年7月7日

二、調査項目・調査結果

①子育て支援対策について

3区の子育て支援センターの実態を現地において、調査した。

第2回



第3回

8月21日 開会

次の議案を審議し、原案のとおり可決しました。

10月29日 開会

次の議案を審議し、原案のとおり可決しました。

◎町税条例の一部を改正する

条例

不均一課税となっている日帰り分の入湯税率を一日100円とするもので、平成21年4月1日から適用されます。

◎20年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出1134万円を増額し、総額9億4298万円補正の内容は、福祉灯油助成を行うための経費です。